

令和 7 年 度

砺波市教育に関する事務の点検及び評価結果
に関する報告書（令和 6 年度分）

令和 7 年 1 2 月

砺波市教育委員会

目 次

I	令和6年度事業の点検・評価の実施方針	1
1	趣旨	1
2	教育委員会の方針	1
3	点検・評価の対象	1
4	議会への報告及び公表	1
II	点検及び評価の結果	2
1	教育委員会の運営状況	2
(1)	教育委員会の構成	2
(2)	教育委員会の開催状況	2
2	教育委員会の組織	3
3	砺波市教育大綱	4
4	教育委員会の事務事業の評価	10
(1)	評価の対象事務事業	10
(2)	評価の方法	10
(3)	評価の公表	10
(4)	事務事業評価表の様式及び記載方法	10
(5)	教育に関する事務の点検及び評価	13
(6)	個別評価表	19
III	学識経験者の意見について	34
IV	まとめ	35

I 令和6年度事業の点検・評価の実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、砺波市教育委員会が実施する教育に関する事務の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

2 教育委員会の方針

教育委員会が所管する事務事業のうち、施策として評価が必要なものについて、個別に事務事業評価を行い、これに基づいて総合的な評価（拡充、継続、見直し、廃止）をする。また、管理的、経常的事務についても、政策として評価が必要な事務については、評価対象とする。

3 点検・評価の対象

令和6年4月から令和7年3月までに実施した教育委員会の事務

4 議会への報告及び公表

点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、砺波市ホームページに掲載する。

Ⅱ 点検及び評価の結果

1 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の構成(R 7. 3. 3 1 現在)

職 名	氏 名	就任・任期	備 考
教 育 長	白江 勉	R 3. 4. 1 ~ R 7.12.22	元小学校長
教育長職務代理者	林 克彦	H25.12.23 ~ R 7.12.22	神職・元小学校長
委 員	齋藤 正樹	H20.12.23 ~ R10.12.22	僧侶・元教諭
委 員	岩崎 納子	R 4.12.23 ~ R 8.12.22	講師・通訳翻訳業
委 員	吉澤 めぐみ	R 5.12.23 ~ R 9.12.22	坊守

(年齢等)

年齢：70歳台1人、60歳台2人、50歳台2人

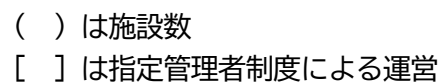
性別：男性3人、女性2人

保護者である委員：2人

(2) 教育委員会の開催状況

- ・定例会 12回
- ・臨時会 1回

【機構図】(R7. 3. 31現在)



砺波市教育大綱

1 基本方針

ともに輝き支えあう 人づくり

市民一人一人は、それぞれ個性をもった可能性あるかけがえのない存在です。未来を担う子供たちが、互いに思いやりの心を持ちながら、のびのびとたくましく育つ教育環境を整えるとともに、市民の誰もが、地域の歴史や文化芸術にふれあい、学ぶことにより、地域を愛し豊かな心を育む生涯学習の充実を図ります。また、健やかな生涯を送れるようスポーツ活動に親しみ楽しめるまちづくりを進めます。

2 大綱の期間

この大綱が対象とする期間は、第2次砺波市総合計画後期計画（令和4年度～令和8年度）との整合性を図るため、令和4年度から令和8年度までの5か年とします。

3 5つの主要施策

主要施策1 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

主要施策2 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

主要施策3 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

主要施策4 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

主要施策5 心と体を育むスポーツの振興

《主要施策1》 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

◆施策の内容

◎元気で笑顔あふれる子供の育成

- 豊かな心と健やかな体を育てる幼児教育・保育の推進
- コミュニケーション能力の基礎づくり

◎幼児教育の質の向上と人材育成

- 幼稚園教諭・保育士への研修、指導体制の充実
- 子育て支援に関わる人材の育成
- 発達障がい等に対する早期支援の推進

◎子育て支援サービスの充実

- 特別保育の拡充
- 地域における子育て支援の推進

◎子供の人権の尊重

- 児童虐待防止体制の整備
- 貧困家庭等への支援

◎子育て環境の充実

- 幼児教育・保育施設の整備
- 認定こども園化の推進
- ICT環境の整備

《主要施策2》 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

◆施策の内容

◎知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

- 個に応じた指導の充実と生きる力を身につけた児童生徒の育成
- 確かな学力の定着と相談活動や支援活動の推進
- 「いのちの教育」や「心の教育」への取組と道徳、人権教育の推進
- 持続可能な社会の創り手を育む教育の充実
- 学校における働き方改革の推進と教職員研修・指導体制の充実
- 食育の指導体制と内容の充実
- 保育所・認定こども園・幼稚園と小学校、小学校と中学校との連携強化

◎地域とともに育てる学校教育の推進

- 地域の理解を深め、郷土への愛着や誇りを育む「ふるさと学習」の推進
- 校種間、学校・家庭・地域間の連携推進
- 将来を展望した学校のあり方についての検討
- 部活動改革に伴う地域部活動体制の整備
- 地域とともにある学校づくりの推進
- 積極的な学校情報の発信

◎共に支え高め合う特別支援教育の充実

- 特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制の充実
- 保護者や学校、スクールカウンセラー等の連携

◎学校施設の整備と充実

- 学校施設の整備及び教材備品等の充実
- 学校ICT環境の充実と更なる活用

◎子供の安全確保

- 登下校時の見守り活動の実施
- 通学路の安全確保に向けた取組の推進
- 非常時の適切な危機管理

《主要施策3》 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

◆施策の内容

◎学ぶ機会の創出と充実

- 多様な学習機会の企画や市民交流活動の提供
- 自主運営による講座やコミュニティ活動、社会貢献活動の支援
- 子供から高齢者までが参加できる地域活動の充実
- 地域行事への参加意識の啓発

◎生涯学習施設の充実

- 生涯学習施設の効率的な活用と施設の改善
- 地域集会施設における改修の支援

◎家庭教育力の向上

- 「親育ち」に向けた学習機会の提供や「親学び」学習講座の支援
- 生活習慣や食習慣形成のための啓発活動の推進

◎図書館サービスの拡充

- にぎわいと学びを創り出す図書館運営
- 読書文化の醸成と子供の読書活動の推進
- 図書館の蔵書と図書資料の充実

◎青少年の健全育成と女性活動の活性化

- 青少年健全育成運動の推進と確かな情報モラル、情報リテラシー教育の推進
- 青年・女性団体リーダー養成事業等による活動の活性化

《主要施策 4》 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

◆施策の内容

◎文化芸術活動の推進

- 市民に親しまれ、活用される文化施設の運営
- 文化団体の自主的活動の支援
- 児童生徒への文化芸術に関する普及活動の推進

◎文化財等の保存と活用

- 史跡増山城跡の整備と活用
- 指定文化財等の点検や適切な保存

◎地域文化の継承と発展

- 地域の伝統文化や伝統芸能の継承と発展
- 地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供

《主要施策 5》 心と体を育むスポーツの振興

◆施策の内容

◎生涯スポーツの振興

- 気軽に親しめるスポーツの普及と地域におけるスポーツの振興
- 子供たちの体力づくり支援
- 地域スポーツ推進リーダーやスポーツボランティア等の育成

◎スポーツ競技力の向上

- トップアスリート養成に向けた優秀スポーツ選手育成の推進
- 競技スポーツの魅力提供による底辺拡大と普及啓発
- スポーツ指導者の発掘と育成

◎スポーツ施設の充実

- 安全で快適に利用できるスポーツ環境づくり
- 施設の計画的な改修と備品等の充実

4 教育委員会の事務事業の評価

(1) 評価の対象事務事業

評価にあたっては、砺波市教育大綱に掲げられた主要施策を構成する事務事業を評価する。

ただし、評価するのは政策的に実施される施策（事務事業）とし、経常的かつ管理的な事務事業及び一時的な建設に係る事務等については、評価表は作成しないこととする。

(2) 評価の方法

- ① 所管課において、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「A」、「C」及び「D」のものについて個別評価表を作成する。
- ② 学識経験者から教育委員会の事務事業評価に対する意見を聴き、課題・改善及び今後の方向をまとめる。

(3) 評価の公表

市民に対する説明責任を確保するため、市ホームページで公表する。

(4) 事務事業評価表の様式及び記載方法

次ページ「評価実施方法」のとおり

<評価実施方法>

○実施手順

砺波市教育大綱（令和４年度～令和８年度）に掲げられた主要施策を構成する事務事業区分ごとに、砺波市教育に関する事務の点検及び評価を実施する。

- （１）砺波市教育大綱の５つの主要施策に分類された事務事業を確認する。
- （２）分類された事務事業の評価を実施し、教育に関する事務の点検及び評価表（以下「評価表」という。）を作成する。ただし、評価するのは政策的な施策（事務事業）とし、管理的な事務事業、建設に係る事務事業及び新型コロナウイルスの影響による給付事業については、評価表は作成しないこととする。
- （３）学識経験者等に評価表をもとに事務事業等を説明し、その内容をまとめ、評価表と合わせて、議会に提出するとともに公表する。

○評価方法

- （１）評価対象事務事業について、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「Ａ」、「Ｃ」及び「Ｄ」のものについて、個別評価表を作成する。
- （２）所属長の総合評価が「Ａ」、「Ｃ」及び「Ｄ」のものについて、次により個別評価表を作成する。

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業一覧表に基づき、所管課において確認修正を行う。
施策の内容	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業について、概要を記載する。

令和６年度事務事業の実施状況

事業名・予算科目	令和６年度で予算措置された事業に基づき、所管課において確認、修正を行う。
R 6 最終予算額	令和６年度最終予算額を記載する。（千円単位）
R 6 決算額	令和６年度決算額を記載する。（千円単位）
R 7 当初予算額	令和７年度当初予算額を記載する。（千円単位）
評価した主な施策	政策評価する施策（事業）を具体的に記載する。

令和6年度事務事業の点検及び評価

必要性	<p>A：市民ニーズが高く必要な事務事業である。</p> <p>B：法令等の定め、または一定の市民ニーズがあり、必要は高い。</p> <p>C：市民ニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。</p> <p>D：市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。</p>
優先性	<p>A：優先度が高く、他の事務事業に優先して実施する必要がある。</p> <p>B：効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。</p> <p>C：効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。</p> <p>D：事務事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替措置を検討する必要がある。</p>
効率性 (経済性)	<p>A：安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。</p> <p>B：安価な事業費で効果もあったが、計画どおり進捗していない。</p> <p>C：成果は認められるが、コストを要した。</p> <p>D：十分な成果が認められず、コストも要した。</p>
総合評価	<p>A（拡充）：十分な執行水準にあり、かつ必要性も高く、事務事業の拡充が必要である。</p> <p>B（継続）：一定の執行水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持</p> <p>C（見直し）：事務事業の必要性は認められるが、その方法等の見直しが必要</p> <p>D（廃止）：事務事業の廃止を検討する（又は休止）</p>
評価の理由等	<p>必要性、優先性、効率性（経済性）の項目の個別評価を考慮し、総合評価に至る経過を具体的事例を踏まえて説明する。</p> <p>e. g. 「A」であれば、何を拡充するのか。「B」であれば、何を効率化するか。「C」であれば、何を見直すか、「D」であれば、廃止時期など。</p>

(5) 教育に関する事務の点検及び評価

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
1	児童福祉総務事業	①子育て支援サービスの利用促進 ・ 広報、利用者支援 ②「砺波市子ども・子育て会議」の開催 ・ 「砺波市子ども・子育て支援事業計画（第2期）」の進捗状況の確認、保育所・認定こども園に関する課題等の確認 ③「砺波市こども計画」の策定 ・ 計画期間：令和7年度～令和11年度	A	3-02-01-02	こども課	17,789	12,528	5,868
2	児童福祉総務事業（繰越明許）	①砺波市子ども・子育て支援事業計画（第3期）ニーズ調査等業務委託	—	3-02-01-09	こども課	2,000	1,980	0
3	家庭児童対策事業	①こども家庭センターの運営 ②家庭児童相談室の運営 ③要保護児童対策地域協議会の開催	A	3-02-01-03	こども課	22,608	16,031	23,005
4	地域児童対策事業	①放課後児童健全育成事業の実施 ・ 8小学校区ごとに設置されている放課後児童クラブの運営 ②砺波市児童クラブ連合会の運営支援	A	3-02-01-04	こども課	39,610	37,497	44,171
5	児童センター管理運営事業	①出町児童センターと庄川児童館の管理運営 ②出町児童センターの今後のあり方の検討 ③屋外型の児童遊園(中村・千代・東石丸・夢の平)の管理運営	A	3-02-01-05	こども課	25,987	21,730	44,286
6	こども・妊産婦医療給付事業	①こども医療費助成 ・ 0歳児から高校生までの入・通院に要する医療費の助成 ②妊産婦医療費助成 ・ 対象疾病（妊娠高血圧症候群、糖尿病、貧血、産科出血、心疾患、切迫早産）に係る医療費の助成	B	3-02-01-06	こども課	212,594	195,855	216,258
7	三世代同居推進事業	①三世代子育て応援給付金給付事業 ・ 三世代同居家庭の孫世代を、2歳児になるまでの間、保育施設を利用せずに自宅で育児した場合に給付金を贈呈するもの ②令和3年度に配付した、となみっ子宝券の利用料の支出 ・ 第1子・2子は1万円、第3子以降は3万円	B	3-02-01-07	こども課	1,946	1,207	2,000
8	砺波市新生児サポート事業	①保護者の出産にかかる経済的な負担を軽減するためのサポート金の支給 ・ 給付額は、第1子は5万円、第2子は7万円、第3子以降10万7千3百円 ・ 住所要件等あり（出生後1年間は市内在住）	B	3-02-01-08	こども課	20,553	18,464	18,094
9	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	①低所得の子育て世帯を対象に給付金（児童1人当たり5万円）を支給 ・ ひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給世帯、公的年金を受給のため児童扶養手当を受けていない世帯 ・ 住民税均等割が非課税の子育て世帯	D	3-02-01-21	こども課	1,323	1,323	0
10	助産施設収容措置事業	①経済上の理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し費用を負担	B	3-02-02-01	こども課	500	0	500
11	児童手当給付事業	①児童手当の支給 ・ 高校生年代までの児童を養育している保護者に支給、児童1人当たりの支給額は、3歳未満は月額1万5千円、3歳以上高校生年代までは月額1万円（令和6年10月改正）	B	3-02-02-02	こども課	931,774	739,593	1,002,782

番号	事業名	評価した主な施策	総合 評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
12	母子・寡婦等 福祉対策事業	①母子・父子自立支援員の配置 ②自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練 促進給付金の至急 ③DV相談事業 ④子どもの学習支援事業 ・ひとり親家庭の児童を対象とする学習指導 ⑤ひとり親家庭子育てサポート事業 ・放課後児童クラブ等の利用料の補助	B	3-02-03-01	こども課	17,898	13,700	13,720
13	遺児福祉金給 付事業	①市内に居住する義務教育修了前の遺児につ いて遺児福祉金を支給	B	3-02-03-02	こども課	494	377	442
14	ひとり親家庭 等医療費給付 事業	①ひとり親家庭等の児童(18歳に達した最初 の3月31日まで)及び父、母又は養育者に対し て医療費を助成	B	3-02-03-03	こども課	30,087	27,660	28,835
15	母子寡婦福祉 資金貸付事業	①母子家庭の母及び寡婦の日常生活上の不測 の出費を想定して、砺波市母子寡婦福祉連合 会を通して小口資金を貸し付ける。 ・1回10万円、無利子、半年貸付	D	3-02-03-04	こども課	2,000	2,000	0
16	児童扶養手当 給付事業	①児童扶養手当の支給 ・離婚等により父母と生計をともにしていな い児童の母又は父、父母のいずれかが身体等 に重度の障害がある児童の母又は父、父母に 代わりその児童を養育している人が支給対象	B	3-02-03-05	こども課	98,302	85,390	102,368
17	保育所事業	①市立保育所（庄下保育所、東部保育所の2 施設）の運営	B	3-02-04-02	こども課	173,762	159,524	200,661
18	子育て支援セ ンター運営事 業	①子育て支援センター事業 ・育児不安等に対する相談指導、子育てに関 する情報提供、子育てサークルへの支援 ②ファミリー・サポート・センター事業 ・事務局の運営、依頼会員と協力会員の連絡 調整	A	3-02-04-03	こども課	85,812	83,566	86,242
19	民間保育所育 成事業	①市内私立認定こども園（ちゅうりっぷ、あ ぶらでん、たかのす、しょうがわ、出町青 葉、庄東の6園）に対する運営費の助成	B	3-02-04-04	こども課	12,700	9,300	20,054
20	保育実施委託 運営事業	①市内民間保育施設（6園）や、市外保育施 設（公立・私立）に対する保育実施委託費の 支出 ②特別保育事業の実施に対する補助（一時保 育、延長保育、病後児保育、年度途中入所、 すこやか保育）	B	3-02-04-05	こども課	815,945	770,775	844,805
21	保育施設整備 事業	①病児保育施設の開設に向けた補助金の交付 ②庄東認定こども園の職員駐車場の整備 ③旧般若幼稚園の不要物品の廃棄	B	3-02-04-06	こども課	74,309	64,123	24,303
22	保育施設整備 事業（繰越明 許）	①庄東認定こども園職員駐車場農地転用等業 務委託費	—	3-02-04-15	こども課	1,100	725	0
23	認定こども園 事業	①市立認定こども園（出町、南部、北部、太 田の4園）の運営	B	3-02-04-07	こども課	576,257	545,449	632,929
24	教育委員会事 業	・該当事務事業なし	—	10-01-01-01	教育総務課	1,698	1,550	1,696

番号	事業名	評価した主な施策	総合 評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
25	教育支援委員会運営事業	・該当事務事業なし	－	10-01-02-02	教育総務課	252	172	252
26	事務局運営事業	①特別支援担当指導主事の配置 ②早期支援コーディネーターの配置 ③小中学校長会等補助金 ④市学校保健会補助金 ⑤学校規模適正化検討委員会開催費	A	10-01-02-03	教育総務課	20,338	15,665	14,525
27	外国語指導助手派遣事業	①小中学校に外国語指導助手を配置	B	10-01-02-04	教育総務課	44,134	44,134	44,234
28	教育センター運営事業	①教職員研修 ②視聴覚ライブラリーの貸出 ③令和のとやま型教育の推進（県委託事業） ④社会科副読本作成	B	10-01-03-01	教育センター	5,287	4,531	2,199
29	教育支援センター運営事業	①教育支援センター「ひよどり」の開設	B	10-01-03-02	教育センター	7,512	6,792	7,941
30	奨学資金貸付事業	①奨学資金の貸付 ②Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免	B	10-01-04-01	教育総務課	7,800	6,600	7,860
31	神下勇夫妻奨学資金貸付・給付事業	①神下勇夫妻奨学資金の貸付及び給付 ②Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免	B	10-01-05-01	教育総務課	13,020	12,480	11,640
32	海外留学支援奨学資金給付事業費	①海外留学支援奨学資金の給付	B	10-01-06-01	教育総務課	2,000	0	2,000
33	小学校管理運営事業	①校務助手及び給食パートの配置 ②学校管理用消耗品の購入 ③学校管理用備品の修繕 ④子どもの登下校安全対応推進事業	B	10-02-01-02	教育総務課	81,918	74,223	88,679
34	スクールバス運行事業	①スクールバス運行委託料 ②スクールバス維持管理費及び燃料費 ③スクールバス修繕費	A	10-02-01-03	教育総務課	21,076	18,991	48,997
35	小学校保健管理事業	①学校医等の報酬 ②児童・教職員の健康診断 ③就学時検診	B	10-02-01-04	教育総務課	15,744	12,736	14,939
36	小学校施設管理事業	①樹木管理、床清掃、警備等の業務委託 ②電気料、上下水道料等の支払い ③経年により改修が必要となった学校設備の修繕	B	10-02-01-05	教育総務課	208,901	140,801	145,399
37	小学校施設管理事業（緑越明許）	①蓄熱暖房機の修繕 ②エレベーターの修繕	－	10-02-01-06	教育総務課	2,336	2,336	0
38	小学校教育奨励事業	①学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ②教材用消耗品の購入 ③教育用備品の修繕 ④教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ⑤ふるさと学習推進事業	A	10-02-02-01	教育総務課	141,448	132,066	142,058
39	小学校教育奨励事業（緑越明許）	①ネットワークアセスメント業務	－	10-02-02-06	教育総務課	726	660	0

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
40	小学校教材備品整備事業	①一般教材備品の購入 ②理科備品の購入	B	10-02-02-02	教育総務課	3,720	3,432	3,421
41	小学校教育振興補助事業	①社会理科現地学習補助金 ②研究指定校補助金 ③学習支援ボランティア活用事業補助金	B	10-02-02-03	教育総務課	4,196	3,732	3,426
42	小学校児童就学奨励事業	①特別支援教育就学奨励費 ②遠距離通学児童補助 ③要保護・準要保護児童就学援助	B	10-02-02-04	教育総務課	37,896	24,236	27,951
43	小学校心の教室運営事業	①心の教室相談員の配置	B	10-02-02-05	教育総務課	6,729	5,026	7,404
44	中学校管理運営事業	①校務助手及び給食パートの配置 ②学校管理用消耗品の購入 ③学校管理用備品の修繕	B	10-03-01-02	教育総務課	45,378	41,204	48,065
45	中学校保健管理事業	①学校医等の報酬 ②生徒・教職員の健康診断	B	10-03-01-03	教育総務課	11,894	8,236	12,063
46	中学校施設管理事業	①樹木管理、床清掃、警備等の業務委託 ②電気料、上下水道料等の支払い ③経年により改修が必要となった学校設備の修繕	B	10-03-01-04	教育総務課	82,295	73,345	64,581
47	中学校施設管理事業（緑越明許）	①エレベーターの修繕工事	—	10-03-01-05	教育総務課	360	360	0
48	中学校教育奨励事業	①学校司書、スタディメイトの配置 ②教材用消耗品の購入 ③教育用備品の修繕 ④教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ⑤ふるさと学習推進事業	A	10-03-02-01	教育総務課	54,761	51,093	73,355
49	中学校教育奨励事業（緑越明許）	①ネットワークアセスメント業務	—	10-03-02-09	教育総務課	363	330	0
50	中学校教材備品整備事業	①一般教材備品の購入 ②理科備品の購入	B	10-03-02-02	教育総務課	2,777	2,647	2,439
51	中学校教育振興補助事業	①各種大会等の参加補助金 ②学習支援ボランティア活用事業補助金	B	10-03-02-03	教育総務課	9,504	9,207	6,356
52	中学校生徒就学奨励事業	①特別支援教育就学奨励費 ②遠距離通学生徒補助 ③要保護・準要保護生徒就学援助	B	10-03-02-04	教育総務課	32,456	21,931	30,329
53	中学校心の教室運営事業	①心の教室相談員の配置	B	10-03-02-05	教育総務課	3,654	3,058	3,611
54	スポーツエキスパート派遣事業	①部活動へのスポーツエキスパートの派遣	C	10-03-02-06	教育総務課	1,750	891	1,396

番号	事業名	評価した主な施策	総合 評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
55	14歳の挑戦 事業費	①推進委員会、準備委員会の開催 ②指導者への謝金 ③活動保険料	B	10-03-02-07	教育総務課	1,438	1,130	1,445
56	部活動指導員 配置事業費	①中学校部活動への指導員の配置	B	10-03-02-08	教育総務課	1,996	806	1,996
57	教育実施委託 運営事業	①市内私立認定こども園（6園）及び市外私 立認定こども園への教育実施委託費の支出	B	10-04-01-01	こども課	128,887	120,482	113,069
58	社会教育推進 事業	①二十歳の式典開催費 ②指定管理施設事業補助（花と緑と文化の財 団）	B	10-05-01-02	生涯学習・ スポーツ課	151,974	150,165	157,211
59	青少年成人教 育事業	①青年団体リーダ養成 ②青少年育成地域推進員の配置 ③各種団体活動への補助	B	10-05-01-03	生涯学習・ スポーツ課	772	408	0
60	子ども教室事 業	①放課後子どもプラン運営委員会の開催 ②放課後子ども教室開設委託 ③土曜学習推進事業開設委託	B	10-05-01-04	生涯学習・ スポーツ課	3,400	2,835	3,407
61	生涯学習セン ター管理運営 事業	①指定管理料（花と緑と文化の財団） ②マイク回線キャノンコネクター取替工事 ③高圧気中開閉器取替工事	B	10-05-01-05	生涯学習・ スポーツ課	17,594	17,056	18,289
62	砺波まなび交 流館管理運営 事業	①まなび交流館管理	B	10-05-01-06	生涯学習・ スポーツ課	11,286	10,212	15,254
63	砺波まなび交 流館教室開設 事業	①まなび講座開設	B	10-05-01-07	生涯学習・ スポーツ課	936	906	896
64	公民館事業	①公民館長・公民館主事の配置 ②公民館運営事業委託の実施 ③公民館分館等への建設補助	B	10-05-02-01	生涯学習・ スポーツ課	57,389	55,257	58,305
65	生涯学習事業	①地区高齢者学級の開設 ②市民大学「学遊塾」の開催 ③三世代交流ふれあい事業の実施	B	10-05-02-02	生涯学習・ スポーツ課	1,156	857	0
66	文化財保護事 業	①文化財の保護 ②指定文化財の維持管理 ③郷土芸能伝承指導者育成事業の実施 ④デジタルミュージアム保守点検 ⑤文化財保存活用地域計画の策定	B	10-05-03-01	生涯学習・ スポーツ課	5,710	5,115	4,533
67	市内遺跡発掘 調査事業	①市内遺跡試掘調査の実施	B	10-05-03-02	生涯学習・ スポーツ課	1,002	279	0
68	かいによ苑管 理運営事業	①かいによ苑維持管理	C	10-05-03-03	生涯学習・ スポーツ課	3,858	3,638	3,614
69	増山城跡整備 活用事業	①史跡整備工事の実施 ②活性化事業の補助 ③増山陣屋の管理	B	10-05-03-04	生涯学習・ スポーツ課	12,679	12,417	2,780

番号	事業名	評価した主な施策	総合 評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
70	芸術文化振興 事業	①砺波市文化祭委託 ②文化活動支援事業補助 ③芸術文化振興事務等	B	10-05-03-05	生涯学習・ スポーツ課	2,540	2,540	2,800
71	文化会館管理 運営事業	①施設管理委託 ②再整備検討委員会の開催 ③舞台袖幕更新工事の実施	B	10-05-03-06	生涯学習・ スポーツ課	72,456	70,363	47,098
72	文化会館管理 運営事業（緑 越明許）	①舞台照明操作卓更新工事	—	10-05-03-10	生涯学習・ スポーツ課	1,452	1,452	0
73	砺波市美術館 管理運営事業	①設管理委託 ②収蔵美術品の購入 ③南側屋根・樋防水改修工事	B	10-05-03-07	生涯学習・ スポーツ課	82,532	79,570	34,115
74	庄川美術館管 理運営事業	①旧庄川美術館の施設解体	D	10-05-03-08	生涯学習・ スポーツ課	48,816	43,707	0
75	庄川水資料館 管理運営事業	—	—	—	生涯学習・ スポーツ課	0	0	64,947
76	埋蔵文化財セ ンター管理運 営事業	①埋蔵文化財センターの管理 ②埋蔵文化財保存活用事業の実施	B	10-05-03-09	生涯学習・ スポーツ課	5,955	5,561	6,317
77	図書館管理事 業	①該当事務事業なし（経常管理のみ）	—	10-05-04-02	砺波図書館	48,255	45,170	53,765
78	図書館運営活 動事業	①蔵書検索サイト及び図書館情報システムの 利用促進 ②SNSを利用した図書情報の提供 ③雑誌スポンサー制度の運用(30事業所51 誌) ④ボランティアとの協働による読み聞かせの 実施、図書館運営協力 ⑤学校図書館との連携	B	10-05-04-03	砺波図書館	35,387	34,796	34,783
79	郷土資料館管 理運営事業	①春の特別展「砺波のまつりー豊作を願う夜 高祭りー」の開催 ②獅子舞文化の地域理解と継承を促す事業の 展開 ③歴史資料及び民俗資料の調査研究・活用 ④生涯学習機会の提供（出前講座の実施、学 校との連携など）	B	10-05-05-02	郷土資料館	24,876	22,655	26,956
80	散村地域研究 所運営事業	①散村地域研究所運営	B	10-05-05-03	散村地域研 究所	1,845	1,742	1,860
81	社会体育振興 事業	①スポーツ推進審議会の開催 ②スポーツ推進委員協議会による研修会の開 催 ③富山県派遣社会教育主事(スポーツ担当)に よる園児、児童及び高齢者への運動指導等の 実施 ④休日の学校部活動の地域クラブ活動の移行	B	10-06-01-02	生涯学習・ スポーツ課	32,207	23,957	30,531
82	生涯スポーツ 振興事業	①体育振興会連絡協議会への事業委託 ②生涯スポーツを推進するための事業委託 ③あそびバ! in砺波の開催	B	10-06-01-03	生涯学習・ スポーツ課	4,642	4,409	4,609

番号	事業名	評価した主な施策	総合 評価	予算科目	所管課	R 6 最終 予算額	R 6 決算額	R 7 当初 予算額
83	スポーツ奨励 事業	①市民スポーツ大会の開催、県民スポーツ大会への選手の派遣 ②全国大会等への出場支援 ③選手及び指導者の育成強化 ④マリーナフェスティバルの開催支援	B	10-06-01-04	生涯学習・ スポーツ課	7,398	7,159	7,308
84	体育団体育成 事業	①スポーツ協会の活動支援 ②スポーツ少年団の育成強化	B	10-06-01-05	生涯学習・ スポーツ課	51,084	51,084	53,610
85	体育施設事業	①社会体育施設の指定管理 ②社会体育施設用地の賃貸借 ③砺波市野球場スコアボード改修工事（設計・施工） ④砺波市温水プール熱交換ユニット更新工事等 ⑤温水プール運営支援	B	10-06-02-01	生涯学習・ スポーツ課	399,720	381,035	287,630
86	給食センター 運営事業	①日本型食生活の推進 ・食に関する教材となる献立・調理 ②地産地消の推進 ・JA等と協力し給食に地場産物の活用 ③食育の推進 ・学校巡回や授業への参加等を実施	B	10-06-03-02	給食セン ター	86,101	85,988	116,986
87	給食センター 管理事業	①施設の機器等の保守及び修繕 ②給食用配送車の更新 ③原水水中ポンプ取替修繕工事	B	10-06-03-03	給食セン ター	60,281	55,180	52,750
88	給食センター 管理事業（繰 越明許）	①高圧交流負荷開閉器取替工事	—	10-06-03-04	給食セン ター	598	598	0

(6) 個別評価表

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係: こども課 こども支援係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	児童福祉総務事業			
予算科目	3-02-01-02			
R 6 最終予算額	17,789	千円	R 6 決算額	12,528
				千円
			R 7 当初予算額	5,868
				千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サービスの利用促進（広報・利用者支援） ・「砺波市子ども・子育て会議」の開催（「砺波市子ども・子育て支援事業計画（第2期）」の進捗状況の確認、保育所・認定こども園に関する課題等の確認） ・「砺波市こども計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）の策定 			

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の負担軽減及び児童福祉の増進のため、今後も引き続き、子育て支援サービス事業の充実及びPRに努めていく必要がある。 ・「砺波市子ども・子育て会議」を開催し、本市の子育て支援事業について幅広く意見を聴き、同事業の充実に生かしていく必要があるため。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 こども家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	家庭児童対策事業				
予算科目	3-02-01-03				
R 6 最終予算額	22,608	千円	R 6 決算額	16,031	千円
			R 7 当初予算額	23,005	千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭センターの運営 ・家庭児童相談室の運営 ・要保護児童対策地域協議会の開催 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性（経済性）を考慮し、総合評価に至る経過を説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、発達障害や虐待等の困難ケースが増加しており、家庭児童相談員による支援への期待が一層高まっている。 ・家庭児童相談員の現体制を継続し、可能な限り多くケースに対応していく。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 こども支援係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	地域児童対策事業				
予算科目	3-02-01-04				
R 6 最終予算額	39,610	千円	R 6 決算額	37,497	千円
			R 7 当初予算額	44,171	千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童健全育成事業の実施（8小学校区ごとに設置されている放課後児童クラブの運営） 砺波市児童クラブ連合会の運営支援 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性（経済性）を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> 市内8小学校すべてに放課後児童クラブが設置されており、児童の健全育成や共働き家庭への支援のために継続していく必要がある。 核家族化の進展等により放課後児童クラブの利用希望者が増加する傾向にあるほか、支援員の確保や特別な支援を必要とする児童への対応などの課題があり、今後の運営方法については運営主体等と協議する必要がある。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 こども支援係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て環境の整備

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	児童センター管理運営事業				
予算科目	3-02-01-05				
R 6 最終予算額	25,987	千円	R 6 決算額	21,730	千円
			R 7 当初予算額	44,286	千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出町児童センター・庄川児童館の管理運営 ・ 出町児童センターの今後のあり方の検討 ・ 児童遊園（中村・千代・東石丸・夢の平）の管理運営 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族化の進展等に伴い、放課後における児童のニーズは大きくなっており、児童の健全育成を図るために継続していく必要がある。 ・ 建物が老朽化している出町児童センターについては、他の場所に機能移転すると同時に運用方法を見直したうえで継続していく必要がある。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表 担当課・係： こども課 こども支援係
 砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービスの充実

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業				
予算科目	3-02-01-21				
R 6 最終予算額	1, 323	R 6 決算額	1, 323	R 7 当初予算額	0
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	・ 低所得の子育て世帯を対象に給付金（児童1人当たり5万円）を支給 ①ひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給世帯、公的年金を受給のため児童扶養手当を受けていない世帯 ②住民税均等割が非課税の子育て世帯				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	D	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性（経済性）を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・国庫負担による臨時的な事業であり、令和6年度をもって事業終了となる。	

令和6年度実施事務事業 個別評価表 担当課・係： こども課 こども支援係
 砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子どもの人権の尊重

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	母子寡婦福祉資金貸付事業				
予算科目	3-02-03-04				
R 6 最終予算額	2,000 千円	R 6 決算額	2,000 千円	R 7 当初予算額	0 千円
事務事業評価した主な施策	・母子家庭の母及び寡婦の日常生活上の不測の出費を想定して、砺波市母子寡婦福祉連合会を通して小口資金を貸し付ける。 （1回10万円、無利子、半年貸付）				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	D	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 （必要性、優先性、効率性（経済性）を考慮し、総合評価に至る経過を説明すること。）	・利用件数が年々減少している（R3 5件、R4 3件、R5 3件、R6 1件）ほか、貸付事務を担ってきた砺波市母子寡婦福祉連合会が令和6年度をもって解散したことから、同年度でこの事業を終了する。	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： こども課 こども保育係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービスの充実

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	子育て支援センター運営事業				
予算科目	3-02-04-03				
R 6 最終予算額	85,812	千円	R 6 決算額	83,566	千円
			R 7 当初予算額	86,242	千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業（育児不安等の相談指導、子育てに関する情報提供、子育てサークルへの支援） ・ファミリー・サポート・センター事業（事務局の運営、依頼会員と協力会員の連絡調整） 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過を説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化が進み気軽に頼れる相手がいない子育て家庭が増えており、継続する必要がある。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	地域とともに育てる学校教育の推進

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	事務局運営事業				
予算科目	10-01-02-03				
R 6 最終予算額	20,338	R 6 決算額	15,665	R 7 当初予算額	14,525
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援担当指導主事の配置 ・早期支援コーディネーターの配置 ・小中学校長会等補助金 ・市学校保健会補助金 ・学校規模適正化検討委員会開催費 				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子供及び保護者に対し、早期からの情報の提供や相談会の実施等による柔軟できめ細やかな対応を行うことや、専門的な見地から保育所・認定こども園・小中学校に指導や助言を行っていることが就学や個別最適な学習等に際し大きな効果を得ており、継続した実施が求められているため。 ・砺波市立学校規模適正化検討委員会からの答申を受け、砺波市総合教育会議において学校規模と配置の具体的な方策が決定したことにより、新設中学校の再編について継続して実施する必要があるため。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	子どもの安全確保

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	スクールバス運行事業				
予算科目	10-02-01-03				
R 6 最終予算額	21,076	R 6 決算額	18,991	R 7 当初予算額	48,997
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス運行委託料 ・スクールバス維持管理費及び燃料費 ・スクールバス修繕費 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学児童の安全安心な登下校を確保するため、砺波北部小学校、庄東小学校及び庄川小学校のスクールバスの運行について業務委託するとともにその他の市内学校の学校行事や校外学習を行う際にも活用するなどスクールバスの有効利用を図っている。 ・今後、導入から20年以上経過しているスクールバス車両について、計画的な更新が必要である。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 庶務係・学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	小学校教育奨励事業				
予算科目	10-02-02-01				
R 6 最終予算額	141,448	R 6 決算額	132,066	R 7 当初予算額	142,058
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員、スタディメイトの配置により、児童の主体的、意欲的な学習活動などを支援している。 ・支援を必要とする児童が増加する傾向にあり、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。 ・授業等にタブレット端末や電子黒板を積極的に活用し I C T 教育の充実を図った。更に、効果的な活用について推進するもの。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 庶務係・学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	中学校教育奨励事業				
予算科目	10-03-02-01				
R 6 最終予算額	54,761	R 6 決算額	51,093	R 7 当初予算額	73,355
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業 				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディメイトの配置により、生徒の主体的、意欲的な学習活動などを支援している。 ・支援を必要とする生徒が増加する傾向にあり、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。 ・授業等にタブレット端末や電子黒板を積極的に活用し I C T 教育の充実を図った。更に、効果的な活用について推進するもの。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	スポーツエキスパート派遣事業				
予算科目	10-03-02-06				
R 6 最終予算額	1,750 千円	R 6 決算額	891 千円	R 7 当初予算額	1,396 千円
事務事業評価した主な施策	・中学校部活動へのスポーツエキスパートの派遣				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過を説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動に専門的な知識や経験を有する指導者を派遣し、教職員の指導を支援するとともに部活動を活発化させている。 ・休日の部活動の地域移行に伴い見直しが必要である。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：生涯学習・スポーツ課

生涯学習係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保存・活用
施策の内容	文化財等の保存と活用

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	かいによ苑管理運営事業				
予算科目	10-05-03-03				
R 6 最終予算額	3,858	R 6 決算額	3,638	R 7 当初予算額	3,614
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	・かいによ苑維持管理				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	C	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・かいによ苑は文化財施設の利用であり、利用者の活動も制限されている。市指定の文化財として施設を維持管理し、長寿命化を図るべきだが屋根の葺き替え工事が懸念材料である。 ・令和6年12月策定の「かいによ苑あり方基本方針」に基づき、民間事業者による利活用の導入を目指し、対話(サウンディング)型調査を実施中である。 	

令和6年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：生涯学習・スポーツ課

生涯学習係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保存・活用
施策の内容	文化芸術活動の推進

令和6年度事務事業の実施状況

事業名	庄川美術館管理運営事業				
予算科目	10-05-03-08				
R 6 最終予算額	48,816	R 6 決算額	43,707	R 7 当初予算額	0
	千円		千円		千円
事務事業評価した主な施策	・旧庄川美術館の施設解体				

事務事業の点検及び評価

必要性	D	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	D	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	D	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	D	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・令和5年度末で廃止した当該施設の除却を実施した。	

Ⅲ 学識経験者の意見について

令和6年度教育委員会事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたり、客観性を確保するため、点検評価の方法や結果等について学識経験を有する者の意見を聴いた。

1 学識経験者の氏名等

氏 名	主な経歴等
山本 一弘	元小学校長
今井 智子	砺波市女性団体連絡協議会会長
天野 秀春	砺波市PTA連絡協議会会長

2 意見聴取日等

令和7年11月27日（木） 砺波市役所東別館会議室

3 主な意見

- (1) 放課後児童クラブの利用希望者が増加している中で、支援員のなり手不足が課題となっていることから、大学生や高校生のアルバイトを募ることやボランティアスクール事業を活用して中学生に体験させること、放課後児童クラブを利用していた卒業生に声かけをするなど、なり手不足を解消するよう検討をしていただきたい。また、他市では教育学部の大学生に対して声かけを行い、夏休みにアルバイトで雇用しているケースもある。
- (2) 「砺波市こども計画」の策定の際、パブリックコメントが1件もなかったということは、周知方法に関して問題があったのではないかと考えるため、今後、このような計画を策定する際には市民に広く周知する方法について検討していただきたい。
- (3) こども家庭センター及び家庭児童相談員の役割など市民の認識が薄いと感じるため、どのような活動を実施しているのかということを市民に広く周知していただきたい。
- (4) ファミリーサポートセンターについて、依頼しても協力が得られないことが多くハードルが高いといった声や協力会員に登録したが市からの声かけがまったくないといった声もあることから、マッチング方法等について検討をしていただきたい。
- (5) スクールバスの運行について、熊が大量出没しているため、児童の安全対策

について配慮やフォローをお願いしたい。

- (6) スタディメイト（特別支援教育支援員）について、仕事の内容など市民にもわかるようにしていただきたい。
- (7) スポーツエキスパート派遣事業について、今後、部活動の地域展開が進む中で縮小されていくものと理解しているが、クラブチーム化した場合の指導者の確保や生徒や保護者に対する経済的な負担が大きくなるような仕組みづくりなど検討していただきたい。
- (8) 砺波市の教育委員会は非常にいいことをたくさんやっていると感じているが、市民の皆さんからするとホームページや広報に掲載してあったとしても見る機会があまりないのではないかと思いますので、新聞などに取り上げてもらうような宣伝方法の工夫をもってしていただきたい。
- (10) 中学校の統合再編について、統合してよかったと思っていただけるように般若中学校区と庄川中学校区の地域や保護者の皆さんに対して、丁寧な説明をしっかりとっていただきたい。特に通学の方法や学校教育目標なども含め、統合することにより本当によくなることを伝えていただきたい。また、若手の教員に対しても今後のスケジュールなどについて説明をしていただきたい。

IV まとめ

教育に関する事務の点検及び評価において、点検評価の方法や結果等について、学識経験者の皆さんからいただいた貴重なご意見を反映させます。

今後とも、この点検及び評価を通して、課題を明らかにしながら教育施策の充実、推進に努めます。